

70人参加のジムカーナ練習会は熱気いっぱい!

CMSC青森 ジムカーナ練習会

4月30日、快晴の日曜日にCMSC青森によるジムカーナ練習走行会が開催された。最近のジムカーナ熱を反映してか、クラブ員はもちろん一般参加も含め70人が参加した。

場所はウィンターラリーのレスコン地点にも使われる岩木スキー場駐車場の特設コース。ここは昨年舗装されたばかりで、クラブ員が練習に使っている場所でもある。予定参加台数を20台ほど上回ったがイベント運営には手馴れたCMSC青森のオフィシャルがスムーズに運び、参加者からは好評を頂いた。ギャラリーも多く練習会とは思えないほどの盛り上がりで、走行会終了後にはTシャツ、トレーナー、オイルなどが当たる抽選会も行われ、参加者からは「ぜひ、今シーズン内にもう一度」の声。オフィシャルも含め、全員が楽しめた一日だった。

(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)



▲岩木山スキー場駐車場の特設コースで練習走行に励む参加メンバー



▲予定を大幅に上回る約70人が参加した



▲天候に恵まれ、ミーティングもスムーズに

草加浩平氏、3時間の熱演は大盛況

CMSC青森 ラリースクール・ナビ講習会

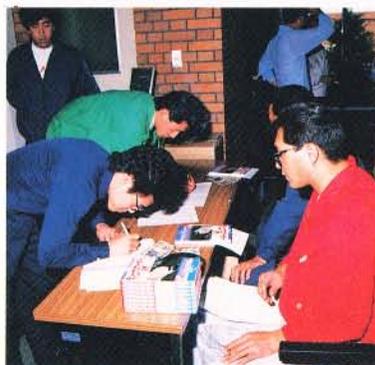
5月4日に'89CMSC青森ラリースクール・ナビ講習会が開催された。会場は今年のラリーのドライバーズミーティングが行われた岩木町中央公民館。講師は「プレドライブ」誌でお馴染みの草加浩平氏。氏の著書である『デジタル解説ラリーナビゲーター入門』をテキストに、約3時間の講義だった。

当初、事務局では30名くらいの参加を見込んでいたが、当日は50名が集まり大盛況。草加氏も自らの体験を混じえながら、安全面についての注意などを熱心に語った。また、会場にはCMSC本部から木全敏氏、山口雅生氏もプライベート参加し、ラリー談議に花が咲いた。参加者も思わぬ「豪華メンバー」

の出席に大満足の様子で、あっという間に時間が過ぎた講習会だった。

また、講習会終了後CMSC青森恒例のお楽しみ抽選会があり、プレゼントのTシャツやトレーナー

が大人気。なごやかな雰囲気うちに終了した。なお、CMSC青森では7月中に練習ラリーを計画しており、ナビ講習会の成果をぜひ発揮してもらいたいところだ。(CMSC青森 鶴ヶ谷慶市)



▲受付には続々と受講者が集まって来た



▲会社や学校にいるときよりも真剣な表情!

Cクラスはギャランが1-2-3、CMSCメンバーも健闘

チームif山岳ラリー JAF 東北・関東地区 ラリー選手権競技第3戦

群馬県内のラリーのメッカ、榛名山と赤城山を舞台に第31回チームif山岳ラリー（JAF東北・関東ラリー選手権シリーズ第3戦、5月20～21日）が行われた。関東での初戦ということもあって、東北・関東地区のトップラリーリストがここに集まった。

第1ステージは関越スポーツランドでダートラが予定されていたが、悪コンディションのためジムカーナに変更、夕方から第2ステージのラリー区間に入り、いよいよ山岳路との闘いになった。舗装林道、超ウェットのダート、ハイスピード区間など多彩な路面がラリーを面白くした。そして、ギャランでCクラスにエントリーしたCMSCのメンバーも豪快な走りを見せる。

そして第3ステージはそれまでのコースを逆走、スリリングなナイトラリーとなる。何台かのリタイヤはあったが、午前6時ごろにはトップ集団が続々と赤城山頂のゴールへたどり着いた。

注目のCクラスは勅使川原光/佐藤忠宣組のギャランVR-4が優勝、2位は鳥羽正文/坂本裕之組、3位は増田守司/加藤淳一組と上位はギャランが独占、CMSC群馬からエントリーの塩野谷浩光/小林信章組も6位と健闘した。Bクラスの優勝は鈴木徳行/片貝弘久組のマーチR、2位がCMSC埼玉・小山和邦/蔵本隆充組のミラージュ。CMSC群馬の船津康一/若林和昭組は6位、CMSC山形の渡辺俊昭/今野泰正組が9位に入った。



川のようなウェットコースで大奮闘のトライアル

'89CMSCトライアルin群馬 群馬ダートトライアルシリーズ第4戦

関越スポーツランドで5月7日に行われた群馬ダートトライアルシリーズ第4戦「'89CMSCトライアルin群馬」、連休最終日とあって参加台数の不足が心配されたが、112台という今シーズン最多のエントリーにより大盛況となった。

当日はあいにくの雨天。豪快なハイスピードコースというレイアウトだったが、路面は川のようなウェットコンディションで、やっとの思いでゴールにたどり着く「泥んこトライアル」になってしまった。競技車がハネ上げる泥水のためCMSC群馬のオフィシャルも泥まみれになる始末。しかし、イベント



の方は熱気あふれる展開を見せた。

三菱車のベストタイムに与えられる「三菱賞」は15台で争われ、A-IIIクラスのギャランVR-4に乗る

河南直樹選手（クラス2位）が1位を獲得した。

最後に、本大会に協賛頂いた各社に厚く御礼を申し上げます。（CMSC群馬 船津康一）

CMSCメンバー、全国で活躍中!

'89CMSCチャレンジカップの行方を占ううえで、そろそろポイントが気になる頃。しかし、ラリー、ダートトライアルとともにCMSCメンバーの活躍はなかなかのものだ。

まず全日本ラリー選手権。CMSC青森の大西康弘選手は第1戦でCクラス4位に入ったほか、第2戦9位、第3戦11位、第4戦14位と健闘中。同じ青森では富士文秀選手も第1戦で5位に入るなど、チャレ

ンジカップ個人部門の常連組としての実力を発揮中。

全日本ダートラでは、第2戦で岐阜の榎田正文選手がAIIIクラス優勝を果たし、群馬の荒井信介選手が2位。山形の砂塚明男選手は第1戦、第2戦ともに7位に入っている。各支部とも活発な参加状況で、地区戦の方も健闘が見られる。夏を迎えていよいよ本番の後半戦にも期待したい。



オマケの「3回目走行」に参加者は大満足

CMSC埼玉 ジムカーナ練習会

'89第1回CMSC埼玉、埼玉三菱コルト合同ジムカーナ練習会が、4月30日に茨城中央サーキットで行われた。当日は好天に恵まれ、CMSC埼玉の会員をはじめ三菱車ユーザーなど60名余りが参加した。

開会式の後、まず慣熟走行。その後にCMSC埼玉で活躍中の佐藤一彦選手による模範走行。参加者はジッと走りを見つめ、さっそく1回目にトライした。すでにジムカーナを経験しているユーザーも多く、ほとんどがミスコースなしの走行。各自がタイムを仲間と比べ合うなど、競技会にも負けない熱の入れ方に、オフィシャルも真剣そのもの。

昼食をはさんで行われた2回目の走行は、1回目のタイムを上回ろうと気合いが入ったせいか、ミスコースやパイロンタッチが多くなった。オフィシャルも右に左に汗だくで、ギャラリーの声援にも力が入る。そして、予定時間よりも早く2回目が終了したため、3回目のチャレンジが行われ参加者も大喜びだった。

ジムカーナ人気も徐々に上がり、今回の練習会は大いに盛り上がりました。参加者の皆さん、オフィシャルの皆さん、どうもお疲れ様でした！

(CMSC埼玉 事務局)



▲CMSC埼玉のメンバー以外にも、三菱車ユーザーが多数集まった。



▲熱気にあふれるハドック。



▲慣熟走行もそれぞれ真剣。

'89CMSCチャレンジカップ栄冠は誰の手に？



1~5月の集計を見ていると、昨年トップであった山形を福島がわずかながら1歩リード。また、昨年元気のなかった岐阜は強力なメンバーを加えて大健

闘中。目立ったところとしては、スラロームといえはダートトライアルが多かったのですが、今回はジムカーナへの参加が多数あったことです。また、レース

部門でも、ミラージュカップだけでなく、P-3000への参加もありました。今後各フィールドでCMSC勢のより一層の活躍を期待します。

●クラブ別獲得ポイント

	1~5月	6~8月	9~11月	12月	合計
帯広	355				355
札幌	0				0
青森	0				0
山形	458				458
仙台	10				10
福島	470				470
栃木	64				64
群馬	225				225
埼玉	51				51
岐阜	112				112
島根	157				157
香川	335				335

●ラリー・ドライバー部門

渡辺 俊昭	山形	86
菅野 茂	福島	72
小山 和邦	埼玉	30
佐藤 一彦	埼玉	21
船津 康一	群馬	20
塩野谷浩光	群馬	12
福本 光志	帯広	10
本田 弘	岐阜	2
伊藤 実	岐阜	1
浅野 博考	岐阜	1

●ラリー・ナビゲーター部門

佐藤 忠宣	福島	96
蔵本 隆充	埼玉	30
瀬々 徹	埼玉	21
若林 和昭	群馬	20
中村 洋次	帯広	10
粥川 秀昭	岐阜	3

●スラローム部門

青沼 達也	帯広	176
須田 行雄	福島	160
荒井 信介	群馬	152
高竹 優之	香川	114
櫛田 正文	岐阜	80
高橋 正喜	福島	80
白井 修	香川	72
杉山 敏夫	山形	66
伊吹 浩明	帯広	65
小野 隆徳	香川	51

●レース部門

小川日出生	山形	164
竹田 恒生	山形	36
東江 誠	山形	34
郡司 義光	栃木	32
川口 法行	栃木	18
山口 茂	栃木	14
木村 政義	山形	6
佐藤 政一	仙台	2
相沢 いく	埼玉	2

●ポイントのつけ方

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位以下	リタイア
ポイント A	40	30	24	20	16	12	10	8	6	4	2	0
ポイント B	20	15	12	10	8	6	5	4	3	2	1	0

A = ラリー……全日本選手権、JMRC地区最上級シリーズ
スラローム……全日本スピード行事選手権、地方スピード行事選手権、JMSシリーズ
レース……全日本選手権、地方選手権、ミラージュカップ
B = それ以外の競技会

※編集部の手元から、集計ができていないクラブがあることをお詫言いたします。(編集部)

↑リタイアには予選不通過も含む

モータースポーツ22年 東北の雄 小川日出生



小川日出生 (おがわ ひでお)

昭和24年6月6日生まれ、40歳。18歳のときコルト800でジムカーナに出場して以来、ギャランGT0、ランサー、初代ミラージュ、コルディア、そしてギャランVR-4、ミラージュ・サイボーグと、三菱車でラリー、サーキットレースを闘い続ける。サザンクロスラリー(オーストラリア)出場の実験もあり、現在はミラージュカップに出場中。RSオガワの代表でもあり、モータースポーツ用車両の供給などを通じて若手の育成にも精力的に取り組んでいる。

私の家はオヤジの代から三菱のサブ・ディーラー(村山ビジョン自動車)だったから、私も自然とクルマの世界に入った。モータースポーツを始める直接のキッカケは、高橋国光さんのような当時のレーサーにあこがれていたからですね。高校で自動車を勉強して、三菱に就職し、すぐにモータースポーツ活動を始めました。

当時、私の初任給は1万5,000円、そのとき、3万円円でコルト800の中古車を買って、ジムカーナ仕様にして初めて競技に出た。今から22年前のことです。3年ほど東北や北関東のジムカーナを転戦しました。A54ギャランが発売されてからは三菱自動車としてのラリー活動が本格的になり、当時、私が三菱のスポーツキットを組んだギャランのラリー仕様とジムカーナ仕様がディーラーに展示されたりもしました。

昭和48年にランサーが出ると、私もラリーに出るようになった。CMSC山形が発足したのも、ちょうどこのころです。ランサーは今でも「世界の名車だった」と思っています。そして、昭和50年に平田さんのナビとしてサザンクロスラリーに出場しました。結果はリタイアだった。これは自分の中でもくやしい思い出ですね。

その後、オイルショックがあったりしたわけですが、56年にランサーターボが出て、三菱ファンを喜ばせてくれた。うちでも17台のランサーターボをラリー仕様に仕上げました。その翌年、私も全日本ラリー戦に再び参戦し、コルディア、ギャランと乗り継いだ。現在はレースに出場していますが、三菱のクルマが本当に素晴らしいものになったと感じています。

結局、22年もモータースポーツにかかわってきたわけですが、本当に多勢の人に助けられ、CMSCのメンバーの皆さんとともに楽しい時を過ごせたと思います。もちろん、苦勞したことも多かったです。いろいろな意味で苦勞を味わうことが人生をもっと楽しくしてくれる材料だと思っています。物質的に(マシンやパーツに関して)恵まれている今の人は、私なんかと思うと「果たして本当にシアワセなのか」と感じてしまう。

これから先の人生も、走れる限り走りたい。高橋国光さんも「挑戦する心があるうちは走れる！」と語っていますが、私も同じ心境です。今年もミラージュカップのエキスパートシリーズにもエントリーしますし、耐久レースやグループAも出てみたい。まだまだ、やりたいことはあるし、心の中は「子供」ですよ。

編集部から

モータースポーツシーズンもいよいよたけなわ。全国からCMSCメンバー大活躍の朗報が続々と入り、CMSCジャーナルの編集担当者はうれしい悲鳴をあげています。CMSCジャーナルは「皆で作る手作り」の会報ですから、メンバーの皆さんの活躍は編

集担当者の喜びでもあります！

そこで、各支部の事務局の方とメンバーの方へお願い申し上げます。イベント報告、身近な話題などCMSCの活動に関するネタを、どんどん編集担当まで送って下さい。また、今回は「パドックインタビュ

ー」としてCMSC山形の小川さん取材しましたが、このコーナーは折を見て掲載する予定です。「私取材してほしい！」とか「ぜひ、この方を」とかいったご要望にお応えしたいと思いますので、ぜひ、ご協力をお願いします。